

「第15回蓮如賞」受賞作発表記事

平成29年10月11日(水) 各紙朝刊

朝日新聞

■蓮如賞に今野勉さん

日本の精神文化を深く捉えた優れたノンフィクション作品に贈られる第15回蓮如(れんにょ)賞(本願寺文化興隆財団主催)の選考会が10日、京都市内であり、プロデューサー・演出家・脚本家の今野勉さん(81)の「宮沢賢治の真実 修羅を生きた詩人」(新潮社)が選ばれた。授賞式は12月12日午後3時から、京都市山科区の東山浄苑(じょうえん)である。副賞200万円。

毎日新聞

■蓮如賞に「宮沢賢治の真実」

優れたノンフィクション作品を対象とする文学賞「第15回蓮如賞」(本願寺文化興隆財団主催)の選考会が10日、京都市内のホテルであり、今野勉さん(81)の「宮沢賢治の真実 修羅を生きた詩人」(新潮社)が選ばれた。賢治の隠された精神世界に迫り、生涯を深く掘り下げている。授賞式は12月12日。

京都新聞

蓮如賞に今野さん

宮沢賢治人生、作品追る

優れたノンフィクション作品に贈られる蓮如賞の選考会が10日、京都市内であり、第15回受賞作にテレビプロデューサー今野勉さんの「宮沢賢治の真実 修羅を生きた詩人」を選んだ。受賞作は、賢治の人生や作品世界にジャーナリズムの手法で迫った。選考委員の山折哲雄さんは「賢治を

巡る数々の謎を解く上で、極めて重大な問題を提起している」と語り、柳田邦男さんは「精緻な事実の積み重ねは驚嘆に値する」と評す。梅原猛さんは「賢治の『闇のパトス』を明らかにした。涙を禁じ得なかった」と自らの論文名に触れながら称賛した。

同賞は、本願寺文化興隆財団の主催で隔年実施している。賞金200万円。

(阿部秀俊)

読売新聞

蓮如賞に今野さん

本願寺文化興隆財団(山科区)は10日、優れたノンフィクション作品を表彰する「第15回蓮如賞」に、演出家で、番組制作会社・テレビマンユニオン最高顧問の今野勉さん(81)(東京都)の「宮沢賢治の真実 修羅を生きた詩人」(新潮社)を選んだと発表した。

選考委員のノンフィクション作家、柳田邦男さんは「宮沢賢治の謎に包まれた実像に綿密な調査で迫った」と評価した。

賞金は200万円。授賞式は12月12日に山科区の東山浄苑で行われる。

「第15回蓮如賞」受賞作発表記事

平成29年10月12日（木）産経新聞朝刊

■蓮如賞に今野勉さん
第15回蓮如賞（本願寺文化興隆財団主催）の選考会が京都市内で10日開かれ、テレビ番組のプロデューサー、今野勉さん（81）の「宮沢賢治の真実 修羅を生きた詩人」（新潮社）に決まった。賞金は200万円。授賞式は12月12日、京都市山科区の東山浄苑東本願寺で行われる。今野さんは昭和11年生まれ、秋田市出身。